

まとめ

「文学」とは何か

文学とは何か

現代批評理論への招待

(上)

テリー・イーグルトン著

大橋洋一訳



欧米の文学理論の諸潮流を初心者にも分かり

やすく解説するすぐれた入門講義。上巻では文学理論が対象とする「文学」とは何かを問うことから始め、19世紀の英文学批評の誕生、現象学・解釈学・受容理論、構造主義と記号論について詳細に論じる。明確な視座に立ち、読者の思考を刺激し触発する、「20世紀の古典」。(全2冊)



赤N204-1
岩波文庫

文学とは何か

現代批評理論への招待

(下)

テリー・イーグルトン著

大橋洋一訳



下巻では20世紀後半の多様な批評理論を解説

する。ポスト構造主義、精神分析批評に加えて、ポストコロニアル批評、新歴史主義、カルチュラル・スタディーズ、フェミニズム批評など1990年代以降に展開した文学、言論をめぐる動向を手際よく整理する。理論への入門のみならず理論からの脱却をも視野に入れた画期的な書。(全2冊)



赤N204-2
岩波文庫

原著1983、邦訳1984



1990、筒井康隆

文学部唯野教授、岩波現代文庫

柄谷行人
黒住 真
神野志隆光
DAVID BIALOCK
堀切 実 品田悦一
JOSHUA MOSTOW
村井 紀

創造 された 古典

カノン形成
国民国家
日本文学

ハルオ・シラネ
鈴木登美
【編】

新曜社

「創造された古典—カノン形成・国民国家・日本文学」
ハルオ・シラネ、鈴木登美 編、新曜社

1999

創
つ
た
男
た
ち



宮沢賢治を
米村みゆき

宮沢賢治とは何者なのか？賢治の神話化の過程で置かれてきた賢治像の
経緯と宮沢賢治の創作活動との関係性という観点から深き掘りにし、地方界人から宮沢賢治を讃え
賞賛していくさまを宮沢賢治の過程から追跡した、賢治の賢治像を米村みゆきから追跡する。賢治像。

青弓社

未発選書 ⑨

文学者はつくられる



文学はいかに消えていくか

明治二十年代になって成立した出版社・取次・書店という近代出版流通システムは日本の近代文学の誕生と期を同一にしている。近代出版流通システムの明治後半の成長は多くの出版社を発生させ、作者・出版社・取次・書店・読者という近代読者社会を形成させるに至った。＜文学＞も＜文学者＞もこれらの生産・流通・販売のなかでつくられたのであり、＜文学＞の経済が立ちあがるのである。こうした視点から編まれた本書はかつてなかった近代文学アプローチであり、スリリングな読解と発見に充ちている。

小田光雄 (『出版社と書店はいかにして消えていくか』)

山本芳明、2001

「未発選書 9 文学者はつくられる」 ひつじ書房

文学理論

- 「理論」以前の理論-リベラル・ヒューマニズム
- 構造主義
- ポスト構造主義と脱構築(ディコンストラクション)
- ポストモダニズム
- 精神分析批評
- フェミニズム批評
- レズビアン/ゲイ批評
- マルクス主義批評
- 新歴史主義と文化唯物論
- ポストコロニアル批評
- 文体論
- 物語論
- エコ批評
- 十大事件で振り返る文学理論の歴史
- 「理論」以後の理論
 - 現実主義、新美学主義:情動、対話の強調
 - 歴史的形式主義、認知詩学



ピーター・バリー 著 ; 2009
高橋和久監訳、ミネルヴァ書房、
2014.4



2016

「ハンドブック 日本近代文学研究の方法」日本近代文学会（編），ひつじ書房

1 テキストと読者

語り論
混迷する「テキスト論」
作品論
読者論
文学理論
生成論/本文研究

2 作者とその歴史

作者論
作家研究
伝記研究
文学史-<学問史>という枠組み
文学史-生成と蓄積

3 文化の諸相(視覚芸術

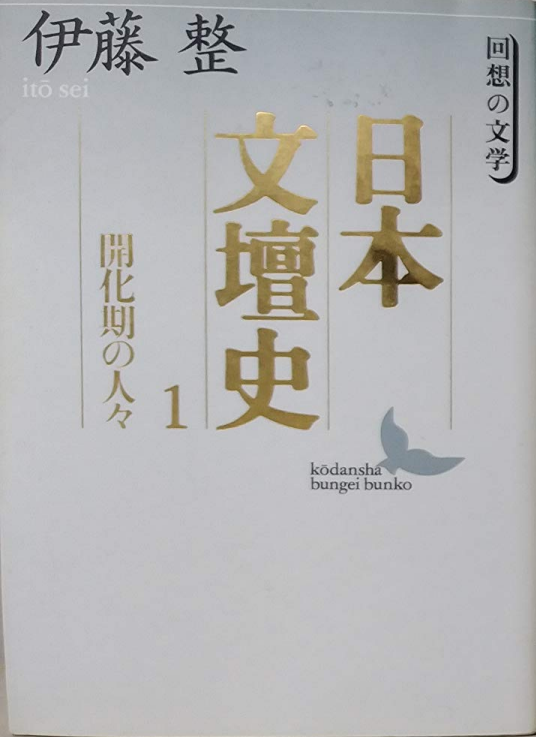
カルチュラル・スタディーズ
メディア・出版文化論
大衆文化・サブカルチャー
比較文化

4 歴史と社会

東アジア-それぞれの文学の経験
ポストコロニアリズム
都市論
フェミニズム
ジェンダー
セクシュアリティ

5 視角の多様性

書誌学
注釈
詩学・詩法
私小説
児童文学



伊藤 整 ③ D3 日本文壇史 2 新文学の創始者たち 講談社 P980 文芸文庫

伊藤 整 ④ D4 日本文壇史 3 悩める若人の群 講談社 P980 文芸文庫

伊藤 整 ⑤ D5 日本文壇史 4 硯友社と一葉の時代 講談社 P980 文芸文庫

伊藤 整 ⑥ D6 日本文壇史 5 詩人と革命家たち 講談社 P980 文芸文庫

伊藤 整 ⑦ D7 日本文壇史 6 明治思潮の転換期 講談社 P980 文芸文庫

伊藤 整 ⑧ D8 日本文壇史 7 硯友社の時代終る 講談社 P980 文芸文庫

伊藤 整 ⑨ D9 日本文壇史 8 日露戦争の時代 講談社 P980 文芸文庫

伊藤 整 ⑩ D10 日本文壇史 9 日露戦後の新文学 講談社 P980 文芸文庫

伊藤 整 ⑪ D11 日本文壇史 10 新文学の群生期 講談社 P980 文芸文庫

伊藤 整 ⑫ D12 日本文壇史 11 自然主義の勃興期 講談社 P980 文芸文庫

伊藤 整 ⑬ D13 日本文壇史 12 自然主義の最盛期 講談社 P980 文芸文庫

伊藤 整 ⑭ D14 日本文壇史 13 頤唐派の人たち 講談社 P980 文芸文庫

伊藤 整 ⑮ D15 日本文壇史 14 反自然主義の人たち 講談社 P979 文芸文庫

伊藤 整 ⑯ D16 日本文壇史 15 近代劇運動の発足 講談社 P951 文芸文庫

伊藤 整 ⑰ D17 日本文壇史 16 大逆事件前後 講談社 P951 文芸文庫

伊藤 整 ⑱ D18 日本文壇史 17 転換点に立つ 講談社 P951 文芸文庫

伊藤 整 ⑲ D19 日本文壇史 18 明治末期の文壇 講談社 P951 文芸文庫

瀬沼茂樹 ⑳ B1 日本文壇史 19 白樺派の若人たち 講談社 Y1200 文芸文庫

瀬沼茂樹 ㉑ B2 日本文壇史 20 漱石門下の文人たち 講談社 Y1100 文芸文庫

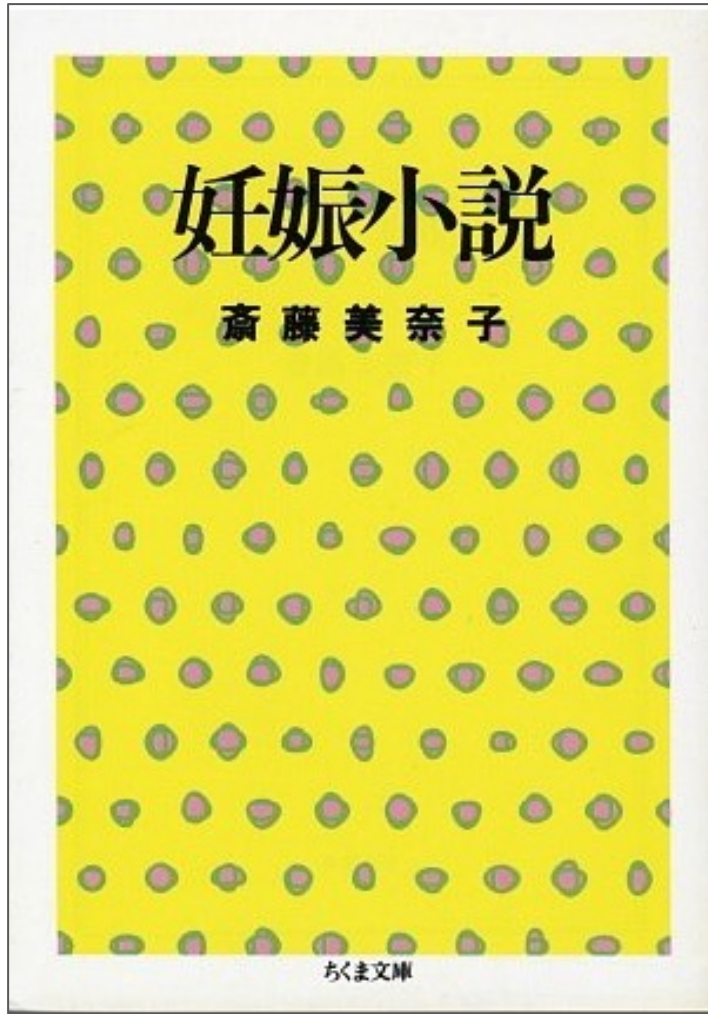
瀬沼茂樹 ㉒ B3 日本文壇史 21 「新しき女」の群 講談社 Y1100 文芸文庫

瀬沼茂樹 ㉓ B4 日本文壇史 22 明治文壇の残照 講談社 Y1100 文芸文庫

瀬沼茂樹 ㉔ B5 日本文壇史 23 大正文学の埒頭 講談社 Y1100 文芸文庫

瀬沼茂樹 ㉕ B6 日本文壇史 24 明治人漱石の死 講談社 Y1100 文芸文庫

「日本文壇史」伊藤整・瀬沼茂樹，講談社文芸文庫，1994-1998



1994

「妊娠小説」齋藤美奈子，ちくま書房



2018

「日本の同時代小説」齋藤美奈子，岩波新書

まとめ

- 「文学」を文化の一部として読む
- 「文学」の機能
- 「文学」の役割
- 「文学場」の分析の必要性
- 「文学史」の再構築の必要性

- 「文学」を通して、考える